

■これまでの部会での主な意見

【全体】

- ・まずは長期的な目標を固めて共有すべき。その上で、短期・中期の方策を考える必要がある。
- ・環境と文化は一つの塊。環境と文化のバランスを図り、一緒に行っていく必要がある。

【水環境】

- ・江津湖で活動する誰にも必要とする“水”を大事にすべき。
- ・水環境の保全は、現在の取組の継続や発信をすることが重要。
- ・水環境については、流域のつながりが重要。

【生物多様性】

- ・外来種の侵入・拡大により、希少種の存在が脅かされている。外来種の防除を徹底的に行い、環境の再生を図るべき。
- ・自然と人とのバランスが重要。いかに共存・共生を図っていくかが大事。

【歴史・文化】

- ・目標に“歴史・文化”を明記し、文化的資源の活用策についても考えていきたい。
- ・水前寺地区との一体性が乏しい。ストーリー性を持たせて連続的な活用策を検討すべき。

【情報発信】

- ・江津湖に関する情報の集積や発信の場として、ビジターセンター（仮）の設置が望ましい。
- ・江津湖の歴史・文化と自然環境を融合させて、より魅力の発信につながると思う。

長期的な目標

水環境の保全

外来種対策

文化的資源の活用

情報の集積と発信

環境と文化のバランス

流域のつながり

自然と人とのバランス

江津湖の一体性

歴史文化と自然環境

環境部会の基本的考え方（目指すべき方向性）

キーワード（視点）

① 豊かな水環境の保全

② 生物多様性の保全と共存・共生

③ 歴史・文化の継承と活用

④ 場としくみの整備

① 豊かな水環境の保全

- 熊本地域における都市化の進展、土地利用の変化
- 長期的に見た湧水量の減少
- 地下水質の悪化（硝酸性窒素）

持続的な
地下水かん養対策地下水質の
保全・改善水循環
流域のつながり地下水に関する
情報発信

② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生

- 動植物の消失・減少（希少種を含む）
- 外来種の侵入・拡大
- 江津湖に関する調査の不足（動植物の生育・生息状況、公園の利用状況など）
- エコトーンの減少
- 人の立ち入りによる生物への影響が増大

生物の生息状況
の把握動植物の生育・生息場
の保全・復元外来生物の駆除
（駆除方法の検討）自然と人との
共存・共生・配慮のあり方
⇒ゾーニング

③ 歴史・文化の継承と活用

- 水前寺成趣園と江津湖の一体的な活用が不十分
- 大名庭園群の適切な管理と歴史的風致の保全
- 文化的資源の洗い出しと保全

歴史的・文化的資源の
保全と活用連続的・一体的活用
ストーリー性散策ルートの
整備とガイド景観
コントロール

④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備

- 自然、歴史、文化等に関する情報不足
- 江津湖の魅力や価値の発信不足
- 江津湖の自然・歴史・文化を継承する人材の育成

情報の集積

価値の発信
魅力の発信環境教育
体験型プログラムの整備担い手づくり
次世代への継承

生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、誰もが誇れる、上質な公園空間の創出を実現する。

基本理念

基本方針

取組み項目

施策事業

① 豊かな水環境の保全

①-1 長期的な地下水かん養対策

地下水かん養

地下水かん養対策の継続（水源かん養林整備事業、水田湛水事業、等）
節水対策や雨水再利用などの持続的な啓発（グリーンインフラ導入の検討）

①-1-1
①-1-2

①-2 水質の保全・改善

水質保全

硝酸性窒素対策や地下水浄化対策の継続
河川の水質調査の継続

①-2-1
①-2-2

①-3 流域のつながり（水循環）

水循環

水源かん養林で育まれた間伐材を利用したベンチの設置
上流域との交流イベントの実施（地下水を育む農産物や林産物の購入の促進）

①-3-1
①-3-2

①-4 地下水に関する情報発信

情報発信

地下水について学び・楽しめるガイドツアーの実施
地下水のめぐみ・大切さを伝える学習教材の作成やサインの設置

①-4-1
①-4-2

② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生

②-1 生物の生息状況の把握

状況把握

希少生物や外来生物の生育・生息状況の調査と把握
電気シヨッカー船による魚類生息状況調査の継続

②-1-1
②-1-2

②-2 動植物の生育・生息場の保全・復元

保全・復元

人の活動ゾーンや環境保全ゾーンの設定（現在の保護区の再整備）
エコトーン（生物の生育・生息空間）の復元及び再生手法の検討（シードバンクの活用など）

②-2-1
②-2-2

②-3 外来生物の駆除（駆除方法の検討）

外来種対策

徹底的な外来生物の駆除（ボランティアの育成及び連携）
外来生物の廃棄方法の適正化（堆肥化、食品化、再利用）

②-3-1
②-3-2

②-4 自然と人との共存・共生・配慮のあり方（ゾーニング）

共存・共生

自然と人が共存・共生・配慮するゾーニングの設定
江津湖の遊歩道の再整備（位置、舗装材、照明灯）

②-4-1
②-4-2

③ 歴史・文化の継承と活用

③-1 歴史的・文化的資源の保全と活用

歴史・文化

句碑のサイン整備（句碑や作者の解説、歴史的背景、つながり、等）
スイゼンジモヤシ等の栽培とブランド化、スイゼンジノリ（国天然記念物）の保護増強

③-1-1
③-1-2

③-2 連続的・一体的活用ストーリー性

一体性

連続性のある景観形成（照明灯や柵の統一、共通サインの整備、等）
水前寺成趣園（国名勝・史跡）の保存管理計画の策定・整備

③-2-1
③-2-2

③-3 散策ルートの整備とガイド

散策

歴史的・文化的資源を巡る散策マップの作成及びガイドツアーの実施
「漱石の道（仮称）」の顕彰と誘導サインの設置

③-3-1
③-3-2

③-4 景観コントロール

景観・管理

庭園保存管理計画の策定・整備
旧砂取堀川邸庭園の調査、文化財指定、管理計画の策定・整備

③-4-1
③-4-2

④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備

④-1 情報の集積

情報集積

江津湖の歴史・文化遺産の継続的な調査・研究と資料の集積
江津湖の環境に関する情報の収集・集積と不足する調査の実施

④-1-1
④-1-2

④-2 魅力・価値の発信

発信

江津湖の情報を集積・発信するビジターセンターの設立
在来種の展示コーナーの設置

④-2-1
④-2-2

④-3 環境教育、体験型プログラムの整備

教育

江津湖の自然を親しみ・楽しみ・理解する自然観察会の実施
江津湖の魅力や価値を伝える教材の作成

④-3-1
④-3-2

④-4 担い手づくり次世代への継承

継承

江津湖の自然を守るガイドブックの作成（外来種の駆除方法、在来種の解説、等）
自然観察会や歴史・文化巡りを通じて新たな担い手や語り部を育成（いきもんネットの活用）

④-4-1
④-4-2